

系碕神社新報

第244号

令和8年6月10日

系碕神社

三原市系碕8-10-1

Tel 0848-68-0102

発行 系碕神社事務局

責任編集 宮司 松本 圭

忌宮神社参拝記

私的なことですが、先日、有志の方々と日帰りで行った参拝旅行に出かけました。このたびは、壇ノ浦の合戦の際に入水崩御された安徳天皇をお祀りする赤間神社、下関の氏神様で御影石の鳥居としては日本最大の大鳥居が聳える亀山八幡宮、そして、忌宮（いみのみや）神社に参拝致しました。ここでは忌宮神社について少々。

忌宮神社の御祭神は第十四代仲哀天皇、お妃様の神功皇后、お子様の十五代応神天皇で、系碕神社と同じ御三柱がお祀りされています。系碕神社の例大祭宵宮（前夜祭）にて、毎年、高井神楽団が「塵（ちり）倫」という演目を披露されていますが、この「塵倫」の物語の題材になったのが、忌宮神社の御社伝です。

御社伝によると忌宮神社は、九州



で起こった熊襲の反乱を鎮圧するために西征された仲哀天皇が

行宮（出先の仮御所）「豊浦宮」を置き給うた所なのだそうです。

豊浦宮に仲哀天皇が詰めておられた時、海の向こうの新羅からやって来た背中に翼を持つ鬼「塵倫」が、熊襲を扇動して攻め寄せてきました。行宮を守る宮方の臣下が次々に倒され、これにお怒りになった仲哀天皇は自ら弓矢を取って塵倫を射倒し給い、頭目を失った反乱勢は一目散に逃げ散って、辛くも襲撃は退けられたと伝わっています。

忌宮神社の境内には、今も、討ち取られた塵倫の首が埋まっている場所を標す「鬼石」があります。



毎年八月に「数方庭祭」というお祭りが行われるのですが、この祭は、人々が各々、長さ二、三十メートルもの長い竹竿を縦に掲げ、行列を成して鬼石の周りを巡るという奇祭です。これは、反乱勢の撃退を

喜んだ宮方の兵たちが、討ち取られた塵倫の死体の周りで矛を立てて踊ったという伝承に因んだものなのだそうです。

その他にも境内には、神功皇后が植え給うたとされる逆さ松や、仲哀天皇の一の臣下だった武内宿禰（たけしうちのすくね）が植えたといわれる銀杏が生えており、太古の昔の事蹟が今も生々しく息づいています。

しかし、下関の中心街から離れていて観光コースから外れているためか、私たちが参拝した日は他の参拝客はまばらで、至って静かでした。また、幼いお子さんを境内で遊ばせている御家族をお見受けするなど、太古の息吹と穏やかで日常的な景色が同居する、のびやかで清々しい空気が流れる時空でありました。

ありがとうございます

平素より、皆様には本当にお世話になっております。当社は皆様のお力で支えられているのだなど、改めて痛み入る次第です。厚く御礼申し上げます。

○五月十一日（月）、田中運輸（株）様の有志の方々が、門前の参道公園の草刈りに来られました。いつもありがとうございます。

○五月二十一日（木）、広島県神社庁三原支部の総会が系碕神社で開催

されました。出席者の受付をお手伝い下さいました総代会役員の方々に感謝申し上げます。

○茨城県立太田第一高等学校の飛田博昭先生が、御調の井戸の傍らに立つ石碑の拓本を掛け軸にして奉納して下さいました。ありがとうございます。神社の宝とさせて頂きます。



○この石碑は、明治時代屈指の書家にして大政治家の副島種臣（副島著海）の書によるものです。飛田先生は、太田第一高校で書道の先生としてお勤めになっている傍ら、各地に残る副島種臣の書による偏額や石碑などを訪ねて研究しておられます。

一昨年の秋に飛田先生が当社に來訪されて何組かの拓本を採られたのですが、そのうちの一组を掛け軸にして、昨春秋に奉納されました。昨秋から最近まで随分と慌ただしくしておりまして、このたびようやくご披露出来た次第です。

○浮世絵のデジタルレタツチを手がけておられる小河蒼雪氏が、自ら制作した「神功皇后図」を

水無月の 夏越しの祓する人は 千歳の命伸ぶと言ふなり

この和歌は当社の夏越大祓の神事にても唱えますが、初出は平安時代中頃の「拾遺和歌集（1006）」です。詠み人知らず。現代とは形式が違っているかも知れませんが、平安時代には既に、夏越しの祓えが行われていました。

奉納されました。本当にありがたいことです。こちらも神社の宝とさせて頂きます。



この絵の原図は、ニューヨークのメトロポリタン美術館所蔵の葛飾北斎が描いた神功皇后図です。デジタルデータ化された北斎の神功皇后図を、小河氏がコンピュータに取り込んでレタッチ（補正・加工）を加え、広島のある企業が独自技術を使ってレタッチ済みデータを絵画として再生しました。サイズは約1700×約700で、ほぼ原寸大です。

○六月六日（土）、有志の方々が定例の境内清掃奉仕を行って下さいました。いつもありがとうございます。

○六月九日（火）、御神木のクスノキの世話で何かとお力・お知恵をお貸し下さっている、樹木医の壇上先生を始めとする「法人樹木医ひろしま」の方々が、クスノキの周りの土をクスノキの生育に適したものにする土質改良作業を行って下さいました。地面を深く掘り返して肥料を

入れるため、パワーショベルを使つての大きな作業となりました。まことにありがとうございます。



「奉仕等」

○広友加羅須美社水無月祭

六月一日（月）午前十時半～

このたびもつつがなく齋行されました。おめでとうございます。

予定

○一梵庵「施術」奉仕

糸崎神社で不定期開催

御奉仕施術

気になるポイント施術

6/12

9:00～11:00の間

糸崎神社 参集殿

参拝されて、気になる部分「サツとスツツ」されませんか？

六月十二日（金）、午前九時～十一時、当社参集殿にて、「リ

ラクゼーション梵庵」のセラピストの落合さんが、施術のご奉仕を行って下さいます。肩・首・腰に悩みのある方、疲れが抜けない方など、ご参拝の際にお気軽にご相談下さい。九時台は予約済みで十時から先着順・無料です。落合さん、いつもありがとうございます。

○松西住吉神社総代会

六月十七日（水）午後七時～

松西公民館にて。

夏越大祓について

○六月三十日（火）午後五時半から、恒例の「夏越大祓（なごしおほはらえ）」を齋行致します。茅の輪をくぐって年明けからの半年間に受けた罪穢れを祓い、無病息災を祈願するお祭りです。

○糸小校区十二町内会の皆様には、夏越大祓の神事で使う人形（ひとがた）を各町内会を通して配布します。それ以外の地域からお越しの方には、祭りの当日、神社の受付にて人形をお渡し致します。

配布をお願いしている町内会の役員の皆様に、厚く御礼申し上げます。

○夏越大祓の駐車場について

常設駐車場には、実施中の大平川（糸崎川）の河川改修工事の資材・機材が置かれてるので、五、

六台しか駐車できません。門前の参道公園をお借りして臨時駐車場として利用する予定です。



※ 国道185号線からは入れません！

○夏越大祓の準備について

以下の要領で進めようと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

①茅葺の収集と選別

六月十四日（日）午前九時～

②茅葺大縄の調整

六月二十一日（日）午前九時～

集めておいた茅葺を使って大縄を調製します。この作業が最も多くの人手が必要です。ご協力のほど、宜しくお願い致します。

③大萱刈り取り・大輪の調製

六月二十八日（日）午前九時～

以上 糸崎神社宮司 松本圭